

議事録（概要）

会議名	令和元年度第1回地域包括ケア推進委員会					
会場	芦屋町役場3階31会議室					
日時	令和元年7月4日（木） 15:00～16:45					
委員の出欠 （順不同）	委員長	中村 貴志	出	副委員長	片山 和夫	出
	委員	櫻井 俊弘	出	委員	末武 司郎	出
	委員	岳藤 さおり	出	委員	松尾 シズ子	出
	委員	安部 知彦	出	委員	川上 誠一	出
	委員	中西 智昭	出	委員	渡邊 秀樹	出
	委員	大古 久美	出	委員	占部 吉郎	出
	委員	白石 英也	出	委員	吉田 まり子	出
件名・議事	<p>議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 正副委員長の選任 2 第7期芦屋町高齢者福祉計画平成30年度事業評価・令和元年度事業計画について 3 芦屋町地域包括支援センター運営状況について 4 予防給付に係るケアマネジメントを委託できる居宅介護支援事業所の承認について 					
審議結果等	<ol style="list-style-type: none"> 1 正副委員長の選任 ⇒委員長：中村 貴志 委員、副委員長：片山 和夫 委員 に決定した。 2 第7期芦屋町高齢者福祉計画平成30年度事業評価・令和元年度事業計画について ⇒説明、了承された。 3 芦屋町地域包括支援センター運営状況について ⇒説明、了承された。 4 予防給付に係るケアマネジメントを委託できる居宅介護支援事業所の承認について ⇒説明、承認された。 					

令和元年度第1回芦屋町地域包括ケア推進委員会 議事録

議事1 正副委員長の選出

- 委員の全部改選後、最初の委員会のため、委員会設置条例第3条第2項の規定に基づき、委員の中から正副委員長を選出した。
- 審議
 - ・委員からの自薦・他薦はなく、事務局提案により、委員長を中村 貴志委員（福岡教育大学教育学部教授）、副委員長を片山 和夫委員（芦屋町区長会会長）とすることが、全員一致で決定された。

議事2 第7期芦屋町高齢者福祉計画平成30年度事業評価・令和元年度事業計画について

- 事務局から平成30年度事業評価・令和元年度事業計画シートについて説明
- 審議
 - （委員）
 - ・緊急通報システム事業について、対象者の基準要件の緩和を今後検討していく方向か。必要な人にサービスが行き届くよう検討してほしい。
 - ・救急医療キットの条件についても、一人暮らしの方を対象としていたと思うが、日中独居の方にも、配布してよいのではないか。

（事務局）

- ・緊急通報装置については、貸与対象者の要件を要綱で定めており、独居の高齢者等で、発作性の持病のある方に限定しているが、個別のケースに応じて、運用上柔軟な対応を行っている。また、対象要件に該当しない方については、民間で類似のサービスを行っている事業所等の情報を提供している。
- ・救急医療キットについても、日中、家に1人である方等については、運用上柔軟に対応している。

（委員）

- ・短期集中型通所サービスの利用人数が0人ということだが、原因をどう考えているか。
- ・短期集中型通所サービスを検討していく際には、ぜひケアマネジャーの意見も取り入れるようにしていただきたい。

（事務局）

- ・短期集中型通所サービスは、3ヶ月程度のリハビリで、ある程度の回復を目指すことになる事業だが、多くの人は、より長期間リハビリを行うことができる、介護サービスによるリハビリを希望される傾向にある。現状の短期集中型通所サービスが、利用者のニーズ

に合致しているかについても、今後、さらなる検討を行っていく必要があると認識している。

(委員)

・高齢者の交通対策について、社会問題になっている昨今、芦屋町では免許返納者に対する褒賞ではなく、公共交通の充実で対応していくと聞いているが、高齢者・障がい者向けの公共交通補助は緊急の課題であると考えます。その点については、町としてどのように考えているか。高齢者や障がい者に対する割引制度などはどうなっているのか。

(事務局)

・今年の6月議会で担当課が答弁している内容を説明させていただくと、高齢者向けに安全装置がついた車の購入補助を検討していくこととしており、早ければ、来年度にも実施していく予定としている。障がい者向けの割引についても、タウンバスは、他のバス事業者などに先んじて、精神障がいまで半額の減免対象に含んでおり、十分できているという認識である。高齢者向け割引は、今後も検討を重ねていく必要があるが、一点、北九州市営バスの高齢者無料パスの町内利用者への適用については、北九州市交通局に申し入れはしたが、なかなか受け入れられないという状況である。

(委員)

・高齢者福祉計画は、細かいところまで落とし込まれた緻密な計画であり、計画に基づく事業が確実に実行されれば、効果も大きいと思うので頑張って取り組んでいただきたい。

・H30年度から健（検）診の受付を中央病院で行うようになり、病院でも職員を1人増やして対応している。長年、健（検）診の受付を行って来て、受付業務に慣れている町の側から見て、何か不都合があればご意見をいただきつつ、ブラッシュアップしていきたいと思うので、よろしく願います。

・昨年度、乳がん検診などの数字が増えているのは、有名人のニュースなどが一時的に影響しているものと考えられるので、これを継続していかなくてはならない。胃カメラ検診含め、がん検診全般の受診率には満足していない。これからまだまだ増やしたいと考えている。

(事務局)

・中央病院で健（検）診の受付を開始してもらったおかげで、受診日数を大幅に増やすことができ、住民が検診を受けやすい環境ができており、大変ありがたく思っている。今後も、受診率向上に向けて取り組んでいきたいので、ご協力をお願いしたい。

(委員)

・芦屋町社会福祉協議会からのお願いになるが、あしたの会をはじめとする住民の助け合いが広がっているが、地域の助けあいをより広げていく必要があると実感している。地域の施設・事業所の社会資源を、地域に解放していただけるようなことがあれば、協力をお願いしたい。

議事3 地域包括支援センター運営状況について

●事務局から地域包括支援センター運営状況について説明

●審議

(委員)

・地域包括支援センターにおける、相談対応件数について、認知症に関する相談件数が前年より明らかに減っているが、原因は何か。

(事務局)

・相談内容が、複数の項目に当てはまる場合でも、主訴の項目で整理しているため、各項目についての件数だけを見ると増減があるが、全体の相談件数としては毎年大きな変動はない。

(委員)

・自立支援型の地域ケア会議とはどのようなものか。

(事務局)

・要支援の方など、軽度の方について、介護サービスを利用しながら、サービスの利用が不要（自立）な状態になることを目指してマネジメントを行っていくための方向性を検討していく場である。

(委員)

・少しずつ進んできているが、認知症の早期発見・早期治療に対する啓発事業をやっていたきたい。

4 予防給付に係るケアマネジメントを委託できる居宅介護支援事業所の承認について

●事務局から予防給付に係るケアマネジメントを委託できる居宅介護支援事業所の承認について説明。

●審議

(委員長)

・特にご意見等なければ、新規の事業所について要件を満たしているということで承認とさせていただきます。⇒特に意見なく、承認された。

●その他

(委員長)

・特にご意見等無ければ、本日の議題、説明は終了したい。事務局の方から補足等があればお願いします。

(事務局)

・来年度に行う予定の次期計高齢者福祉画策定に向けて、年明けごろから事務を進めて

いく必要があり、2月頃には住民アンケートの実施等に向けて、この委員会で内容の検討をお願いしたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

(委員長)

それでは、以上で本日の会議を閉会としたい。

以上